

Ⅲ-4. 言語・社会教育専攻 国語教育分野履修基準（小学校対応）

科目区分		科目名				単位数	
		1年	2年	3年	4年		
教養科目		「教養科目履修基準」参照				26	
専攻科目	教職課程	教科に関する専門科目(小)	● 初等国語 2 ● 初等社会 2 ● 初等算数 2 ● 初等生活 2 ● 初等英語 2	● 初等音楽 2 ● 初等図画工作 2 ● 初等家庭 2 ● 初等体育 2 ● 初等理科 2			20
		教科に関する専門科目(中)	● 日本語学概論Ⅰ* 2 ● 日本語学概論Ⅱ* 2 ● 漢文学概論Ⅰ 2 ● 日本文学概論Ⅰ* 2 ● 日本文学概論Ⅱ* 2	● 国語表現 2			12
		教科指導科目(小)		● 初等国語科教育法 2 ● 初等算数科教育法 2 ● 初等家庭科教育法 2 ● 初等体育科教育法 2 ● 初等英語科教育法 2	● 初等社会科教育法 2 ● 初等理科教育法 2 ● 初等音楽科教育法 2 ● 初等図画工作科教育法 2 ● 初等生活科教育法 2		20
		教科指導科目(中)		● 中等国語科教育法Ⅰ 2 ● 中等国語科教育法Ⅱ 2	● 中等国語科教育法Ⅲ* 2 ● 中等国語科教育法Ⅳ* 2		2
	ア	教育の基礎的理解に関する科目	● 教職論 2 ● 教育の基礎と理念 2 ● 発達と学習 2	● 教育の制度・経営と社会 2 ● 特別支援教育 2			10
	イ	道徳・生徒指導等に関する科目	● 道徳の理論と指導法 2	● 教育課程と教育方法 2 ● 生徒指導・進路指導の理論と方法 2	● 教育相談の理論と方法 2 ● 特別活動・総合的な学習の時間の理論と指導法 2		10
	ウ	教育実践に関する科目	● 基礎実習 1		● 教育実習事前事後指導 1 ● 教育実習(初等)Ⅰ 4	特別支援教育実習 3 教育実習(中等)Ⅱ 2 教育実習(初等)Ⅲ 2 教員採用直前実習 1 ● 教職実践演習(幼・小・中・高) 2	8
	エ	教育フィールド科目	教育フィールド研究Ⅰ 2 教育フィールド研究Ⅱ 2 へき地教育論 2	教育フィールド研究Ⅲ*(介護等体験) 2 教育フィールド研究Ⅳ* 2 へき地教育指導法 2	● 学校臨床研究 2	教職実践研究 2	6
	オ	専攻科目		● 国語の基礎 2	言葉の発達と教育Ⅰ* 2 言葉の発達と教育Ⅱ* 2 国語授業のしくみⅠ* 2 国語授業のしくみⅡ* 2 言葉のはたらきⅠ* 2 言葉のはたらきⅡ* 2 小説の読み方Ⅰ* 2 小説の読み方Ⅱ* 2 言葉の文化Ⅰ* 2 言葉の文化Ⅱ* 2	4(選必)	8
	カ	研究発展科目		日本語学講読Ⅰ* 2 日本語学講読Ⅱ* 2 日本語学講読Ⅲ* 2 日本語学講読Ⅳ* 2 漢文学講読Ⅰ* 2 漢文学講読Ⅱ* 2 漢文学講読Ⅲ* 2	近代文学講読Ⅰ* 2 近代文学講読Ⅱ* 2 近代文学講読Ⅲ* 2 古典文学講読Ⅰ* 2 古典文学講読Ⅱ* 2 古典文学講読Ⅲ* 2	2(選必)	8
キ	卒業研究			● 小学理科実験 2 日本文学研修 2	国語科研究法 2 日本語学研究法 2 漢文学研究法 2 近代文学研究法 2 古典文学研究法 2	4	
ク	卒業に必要な単位数	上記科目の他、学生の自主的プログラムに基づき選択により履修するものとする。 (対象科目) ①専攻履修基準(他専攻を含む)に掲げる授業科目 ②別表「研究発展科目対象科目一覧」に掲げる授業科目 ③全学連携により開設する科目又は他の校等で開設する授業科目				134	

・「●」の付いている科目は必修科目である。
 ・同一科目名の後のローマ数字は履修段階を示し、その順序に従って履修しなければならない科目である。(例「～Ⅰ」を履修した後に、「～Ⅱ」を履修することができる。)
 ・ローマ数字の後に「*」を付している科目は、その順序に従わなくても履修できる科目である。(例「～Ⅰ」を履修せずに、「～Ⅱ」を履修することができる。)